



未来を夢見て

2020/4/10 No. 1

令和2年度のスタート

4月9日(木)。退勤時刻が近くなり校長室から外を見ると、夕陽が船形連峰の山並みを背景に美しく沈んでいくのが見えました。あまりの美しさにしばしその光景に目が奪われました。

港町で育った私には、海と潮風がないのは少し寂しくもありますが、連日壮大で美しい風景に囲まれて勤務を重ねるうちに、改めて自然の偉大さや荘厳さに気付かされる瞬間があります。

小野小学校お世話になって今日で10日。

本来であれば始業式、入学式を終えて令和2年度の学校生活が始まっているところですが、新型コロナウイルス感染症対策のため、大和町でも臨時休校を決断されました。

国から緊急事態宣言が出されるなど、まだまだ予断を許さない状況です。そんな中、**感染防止**と**授業再開**という難しい課題に、連日正面から立ち向かっている徳田教頭先生と安藤教頭先生の姿勢、そして、819名の子供たちのために自ら足を運んで「自宅確認」に踏みきっていただいた先生方の行動力には本当に頭が下がる思いです。本校に着任し、子供たちの声が聞こえないのは本当に残念ですが、職員室から絶え間なく聞こえる先生方の(わいわいがやがやした風通しのよい)声に毎日心地よい刺激をいただいております。

『校長室だより』を書くのは、前任校も含め今回で3回目です。どの学校でも大事にしてきたのは、校長(副校長)として何を大事にしたいのか、ということをしてできるだけ、平易な言葉で正直に教職員の皆さんに理解してもらうことです。全く不定期で思いのままに書かせていただくつもりですので、目に留まった時に読んでいただければ幸いです。

4月1日に着任以来、本校のこれまでの教育活動の素晴らしさに毎日心が洗われる思いがしています。開放的で明るい雰囲気職員室、教職員の皆さんの礼儀正しさと勤勉さ、今野さんと杉元さんの行き届いた清掃、メッセージ性の強い掲示物。そして、前武山校長先生が愛された「ゆるキャラ」・・・、全てが3月25日の引き継ぎで武山校長先生がお話された通りであり、子供たちと教職員の皆さんを武山校長先生が心から大切に思っていたことが改めて伝わってきました。

職員会議でお話した「原点に戻って本質をみる」は私が教員(特に管理職)として大切にしてきた考え方です。このことは言い換えれば「それが子供のためになるか」ということです。また、ものごとを進める上では、これからも教職員の皆さんとの対話を大事にしていきたいと思っております(時に時間はかかりますが)。

偉そうなことを並べましたが、本当に小野小1年生です。

皆さんにとって働きがいがあって、子どもたちにとって学びがいのある学校になるように私自身、学校の教育の原点に戻って「みなさんと一緒に学校づくり」を始めるつもりです。

1年間、よろしくお願ひします。

(文責: 手代木)

